

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 明日葉  
 作成日 平成21年11月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つもなかったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて過大が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに泡あせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		現在、車椅子使用の方が居室で休まれる時間が多くなった、又車椅子に座っていても傾眠傾向にあり、意欲低下に繋がっている。以前まで行っていた職員と入居者全員での草取り、拭き掃除、ガラス拭き等が、外出が多くなった分できなくなった。	全員の入居者の方達が、草取りが出来なくても一緒に戸外に出て軽作業を行ったり、傍で見学したり出来たら日中の傾眠も軽減し、意欲低下防止となるのではないかと思う。	まずは一週間に1時間程度から始め状態の観察を行い、外出を行いながらも全員で参加できる戸外での過ごし方を工夫する。徐々に回数を増やし利用者の身体に合わせて行う。無理は避ける。	1年
2		利用者の方の身体的低下により、ホームでのレクリエーションが出来なくなった。車椅子使用でも、できるレクリエーション、「道具を使って音楽に合わせて身体を動かす」、「カラオケ大会」「習字、貼り絵」等々以前行っていた事が出来なくなった。	全員の方ができるレクリエーションを職員全員で話し合い、週1回でも実施し、日中の過ごし方の見直しを行い車椅子の方も一緒に楽しめる工夫をする。	以前は出来ていたレクリエーションを行なう事で利用者同士、又職員が一緒の時間を過ごす事で今以上にコミュニケーションを図る事ができる。その日の状態で利用者の方と話し合い何をするか決定する。決定の場面作りにも役立てる。	1年
3		身体的低下された方達の意欲低下、皮膚疾患が多くなった以前まで全員の方を外出させ、日光を浴び皮膚疾患も少なかった。	日光を浴びる事で皮膚疾患の軽減となり、気分転換、意欲低下予防等にも繋がる。現在外出されている方はもちろんのことだが、室内で過ごされる方の日中の過ごし方を工夫する。	1日30分程度から始め日光浴を実施する事で関わる時間が増え、意欲低下予防、日光を浴びる事で皮膚疾患の軽減となる	1年
					ヶ月
					ヶ月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入してください。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。